

At a Glance

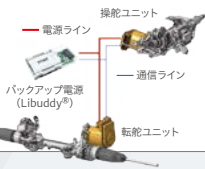
ジェイテクトはステアリングやベアリング・工作機械のコア技術を軸に社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会と企業価値の向上を両立しています。

イノベーションを生み出す開発力

顧客価値を起点とした先行開発と高度な技術力により、市場ニーズを先取りしたイノベーションを創出し、持続的な成長と企業価値向上に貢献しています。

第5世代低トルク円すいころ軸受 LFT®-Vが、日刊工業新聞社主催 2025年超モノづくり部品大賞において**モビリティ関連部品賞を受賞**

リンクレス・ステアパイワイヤと高耐熱キャパシタ「Libuddy®」が、トヨタのLEXUS®初の**BEV専用モデル「RZ」に採用**
(同システムはLEXUS初)
※ LEXUSはトヨタ自動車株式会社の登録商標または商標です。

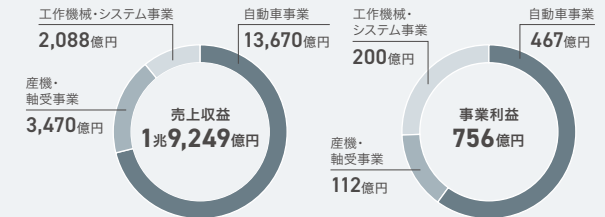


トヨタ自動車主催の2025 TOYOTA Suppliers Conventionにて「ステアパイワイヤシステムの開発」がトヨタ技術開発**“最優秀賞”を受賞**



多様な製品展開

多様な製品ラインアップとグローバル供給体制を強みに、地域や市場ごとの多様なニーズに柔軟に対応し、持続的な競争力の強化と成長を実現しています。



「電動パワーステアリング」を世界で初めて開発・量産し、1988年以来、**世界シェアNo.1**^{*}
世界シェア **24%**



※シェア率は当社調べ

重荷重・超高温の中でも、高速回転を実現する鉄鋼設備用軸受は**国内シェアNo.1**^{*}
国内シェア **55%**



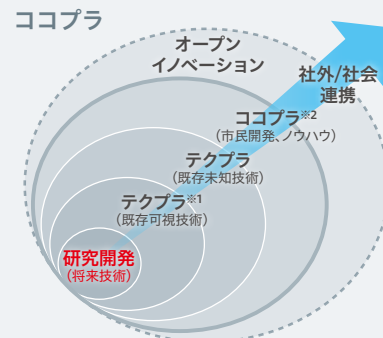
1956年に「国産初の円筒研削盤」を開発。円筒研削盤は**国内シェアNo.1**^{*}
国内シェア **40%**



サステナブル経営

社会課題の解決と事業成長の両立を目指し、環境・社会・ガバナンス施策を全社的に推進することで、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、中長期的な企業価値の向上を図っています。

- ① 深化・拡張での強みを掛け合わせイノベーションを生み出す
- ② Well-being(人、風土、仕組みづくり)



※1 テクノブラ: テクノロジー・プラットフォーム。技術の強みを集約しプラットフォーム化したもの。
※2 ココブラ: コアコンピタンス・プラットフォーム。人の強みを集約しプラットフォーム化したもの。

ジェイテクトグループでの**SBT (Science Based Targets)** 認定を取得



花園工場の「グリーン水素地産地消プロジェクト」が**中部圏低炭素水素認証制度に認定**

「加工ノウハウモデリングの開発によるモノづくり現場の課題解決」が公益社団法人精密工学会より、2025年度(第21回) **課題解決精密工学会技術奨励賞を受賞**

SOMPOサステナビリティ・インデックスを**15年連続で獲得**



「CDP2025」気候変動分野において**最高評価Aを獲得**



「健康経営優良法人 2026(大規模法人部門)」 **ホワイト500に認定**



At a Glance

グローバルに
製品を提供製造拠点 **120工場**アジア・オセアニア・
南米・その他

22.8%

欧州

10.4%

地域別売上率

合計

売上収益 **1兆9,249億円**連結会社数 **112社**社員数 **43,233人**

日本

39.5%

北米

27.3%

地域別会社数と社員数

2026年3月31日時点

欧州

18社
4,131人アジア・オセアニア・
南米・その他**56社**
13,696人

日本

25社
18,819人

北米

13社
6,587人

自動車事業

当社のステアリング製品は、軽自動車から大型商用車まで適用できる豊富なラインアップで幅広い自動車メーカーのニーズにマッチ。駆動製品は電動化に適した低振動、低燃費化により安全・安心・快適な移動に貢献。次世代燃料対応製品の開発も推進しています。

主な製品

電動パワーステアリング、ステアパイワイヤシステム、ハブユニット、
ドライブシャフト、プロペラシャフト、トルセン、ディファレンシャルユニット、
FCEV※向けバルブ等

※ FCEVはトヨタ自動車株式会社の登録商標または商標です。

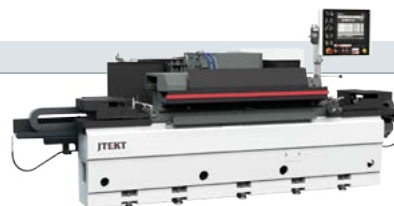


工作機械・システム事業

当社の工作機械は、自動車産業で培った高い生産性と高い精度を長期間維持できる信頼性を強みに、幅広いニーズにお応えしています。充実したサポート体制で、様々な産業のモノづくりを支えています。

主な製品

研削盤、マシニングセンタ、切削機、
制御機器（IoT関連製品を含む）、電池生産設備（源泉工程）、
工業用熱処理炉等



産機・軸受事業

当社は多種のベアリングをラインアップし、幅広い分野へ提供しています。お客様の使用環境や要求性能に合わせた軸受を供給することで、世界中の産業と社会の発展を支えています。

主な製品

ローラーベアリング、ボールベアリング、ベアリングユニット、
その他各種ベアリング、オイルシール等



アフターマーケット事業

世界各地の販売ネットワークと多様な商品ラインアップを活かし、補修市場でお客様になくはない存在を目指すとともに、プロダクトライフサイクル全体を支えるソリューションパートナーとなることを目指します。

主な製品

JTEKT ステアリング、駆動製品、グループ会社製品、水位計等

Koyo

ベアリング、ベアリングディフェンダー等

Oni
BEARING

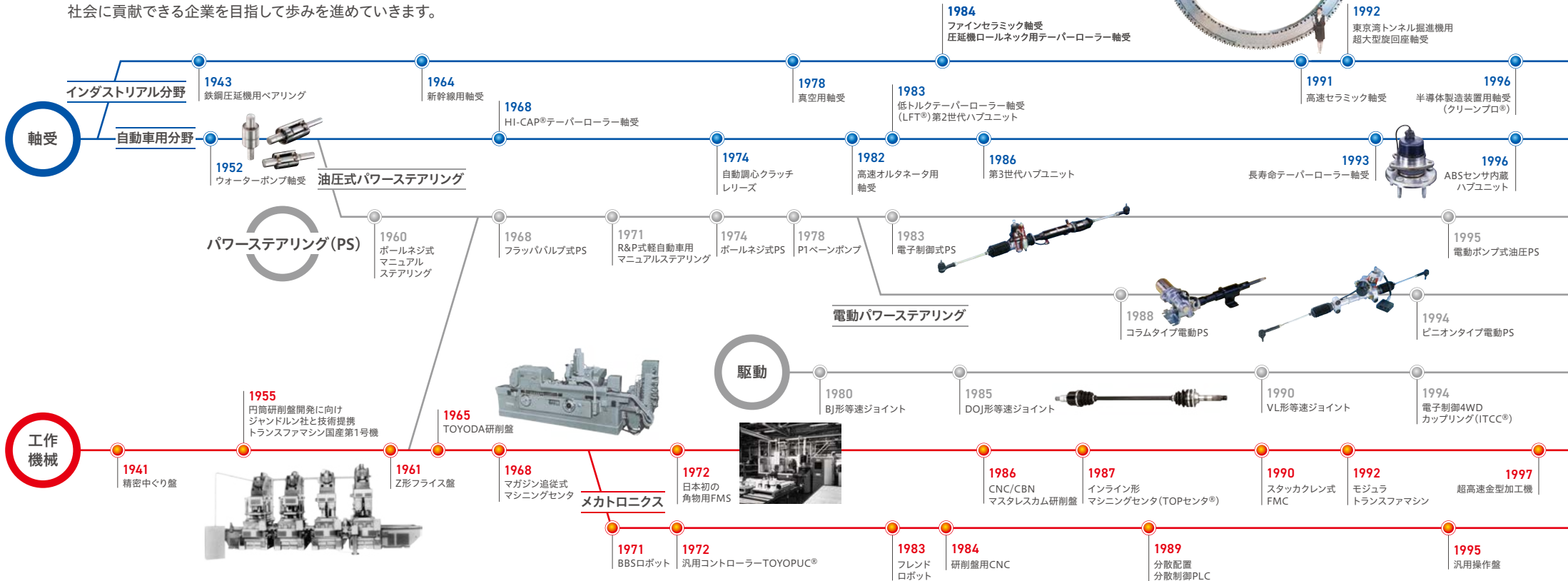
ロードバイク用セラミック軸受 ONI BEARING®



ジェイテクトのあゆみ

創業以来、技術を磨き抜くことで高い品質と信頼される製品を提供してきた光洋精工と豊田工機。

その2社が合併し2006年にジェイテクトは発足しました。これからも「No.1 & Only One」の商品を生み出し続け、社会に貢献できる企業を目指して歩みを進めていきます。



1941

豊田工機 設立

トヨタ自動車工業 (現:トヨタ自動車) から
工機部門を独立分業し、豊田工機を設立

1965

TOYODAブランドの
研削盤開発

1968

油圧パワーステアリング
生産開始

マシニングセンタ開発



1980

CNC円筒研削盤の生産開始

自動車用等速ジョイントの生産開始

2002

EPSの開発・販売を行うファアベスを設立



2006

ジェイテクト 設立

JTEKT

1921

光洋精工 創業

池田善一郎個人商店として、光洋
精工を大阪市に創業、輸入ベアリン
グを販売後生産に着手

1927

国産初テーパーローラー
ベアリングを商品化



1975

北米でベアリング生産開始

1984

セラミックベアリングを
世界で初めて実用化



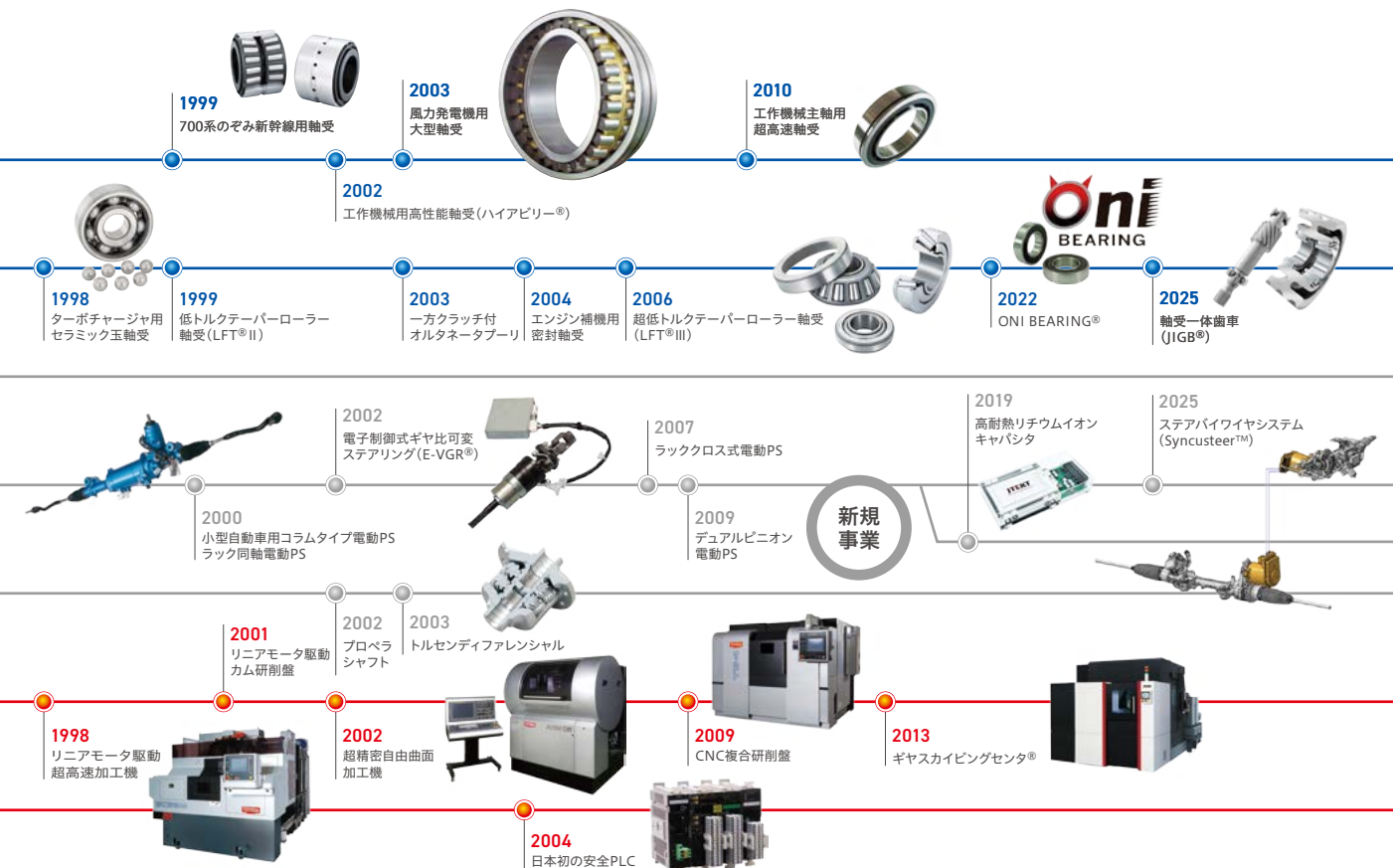
1988

世界初の電動パワーステアリング
(EPS)を開発、生産



ベアリングメーカー「光洋精工」と工作機械
メーカー「豊田工機」の2つの企業が合併し
世界一の電動パワーステアリングメーカーが
誕生

ジェイテクトのあゆみ



2012

伊賀試験場開所



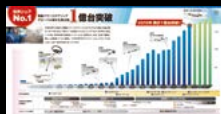
2013

大形軸受技術開発センター本格稼働



2015

電動PS 累計1 億台



2022

全事業のブランドを統一



2024

JTEKT Group 2030 Vision発表



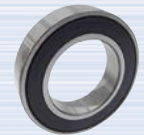
2025

LEXUS RZにステアバイワイヤシステム (Syncsteer™) が初搭載されバックアップ電源 (Libuddy®) も採用

高性能電気自動車のeAxe向け
グリース潤滑セラミックボールベアリングを開発

ジェイテクトは高性能電気自動車向けeAxe用として、電食防止や高速回転性能に優れるグリース潤滑セラミックボールベアリングを開発。セラミックボール採用に加え、樹脂保持器・非接触シール・グリースを最適設計し、30,000r/minに対応する高速回転を実現しました。電気自動車の性能向上と持続可能なモビリティ社会の実現に貢献しています。

eAxe向け グリース潤滑セラミックボールベアリング



高耐熱リチウムイオンキャパシタ (Libuddy®)

ジェイテクトの高耐熱リチウムイオンキャパシタ「Libuddy®」は、独自技術による動作温度範囲-40~85℃の高耐熱化により、従来品を遥かに凌駕する出力密度と耐久寿命を実現し、電源の小型軽量化、高性能化やメンテナンスフリー化に貢献します。既存電源を強力にサポートする相棒 (buddy) として、各種電動製品の付加価値向上に貢献する活用事例とソリューションをご提案します。



自動操舵制御システム (Pairdriver®)

ジェイテクトの手掛けるPairdriver®が、トヨタ自動車株式会社のSoftware Defined Vehicle普及に向けた第一歩として位置づけられる「新型RAV4」の操舵制御機能として初めて量産車に搭載されました。

ジェイテクトサーモシステム、先端半導体へ貢献する
熱処理装置を発売

半導体向け量産熱処理装置「SO2-60-F」

ジェイテクトのグループ会社であるジェイテクトサーモシステムは、半導体メーカー向け量産熱処理装置での実績を背景に、先端半導体パッケージ用新製品「SO2-60-F」を発売。AIや5Gで需要が高まるRDLやガラスインターポーザー製造に貢献する装置として開発されました。